

南小倉校区新聞



町を美しく

発行元：南小倉校区

自治連合会

社会福祉協議会

まちづくり協議会

環境衛生協会

小倉北区新高田 1-10-3

(南小倉市民センター内)

電話&Fax：(093)581-4642

発行責任者 三浦 明德

ご心配の方は”一読”を! (認知症)

時々、市民センター3階・受付近くに、”この方を見てないですか?”という写真入りの「人さがし」が掲示されています。

そこには、行方不明になったと思われる日・時や場所、年代、そして服装や特徴が記されています。また、見かけた時の対応等も併記されています。

もし、私たちの地域において写真に似た人をみれば即交番に届け出て下さい。高齢者社会においてはこのような事例が多くなっているのはご承知のとおりです。

また、ご家族等でこのようなご心配の方がおられる場合は次のようなサポートを北九州市では行っています。

(1) 認知症行方不明者等 S O S ネットワークシステム。

①ご家族⇒行方不明届けを各警察署生活安全課へ

②搜索依頼(ネットワークによる搜索活動)

- ・公共交通機関 (JR、バス、タクシーなど)
- ・北九州市消防局
- ・各区役所保険福祉課(市民センター、民生委員等連絡)
- ・認知症サポーターメールを利用した搜索活動

※ 認知症の理解者である「認知症サポーター」の内、メール受信の登録をした方に対して行方不明者情報を電子メールにて配信する。

(2)本サポートを利用する場合は下記箇所にご相談下さい。

北九州市認知症支援・介護予防課 (電話 093-582-2063)

(3)前記サポートの他

・北九州市見守りシールもあり。(同上に電話で相談を)



地域で GO!GO!健康づくり
健康コラム

76

花粉症から身を守る方法

医療法人 赤司医院
院長 赤司 隆裕

現在、花粉症はほぼ二人に一人が発症する国民病となっています。しかし1985年頃までは比較的まれな病気で、そういえば、あの頃は花粉症で悩んでいる人は周囲にいなかったなあとと思う方も多いのではないのでしょうか。

戦中戦後と大量の山林が伐採され、戦後全国の山林で広く植林されたのが花粉症の原因となっている杉でした。最近、無花粉スギも開発されてはいますが、スギ人工林の面積は441万haあり当分、花粉飛散量は増えていくと思われます。

マスク、ゴーグルは有効ですが黄砂、pm2.5 などの大気汚染物質による花粉爆発で放出される微細なアレルゲン物質は一般のマスクで防ぐことができず気管支や肺に到達してしまうとの報告もあります。

pm2.5 や大気汚染が激しい日、雨降りの翌日は外出をひかえ、交通量の多い沿道での運動はさける。帰宅時には玄関先で衣類や髪についた花粉を払う。うがい、手洗い、洗顔をする。洗濯物を外に干さない。空気清浄機は玄関や出入口で床に近いところに置く。花粉が飛び始め、わずかな症状が生じたらすぐに薬を使い始める「初期治療」が大切です。



安全の向上/立ち木の伐採

周望学舎・横の道路上に学舎敷地内の樹木が倒木の恐れがあることを近く住民の方より指摘があり、従って同舎担当の方に善処を依頼、その結果、2月上旬に対処したとの連絡があり地域の安全が確保されました。



伐採前



伐採後

<お知らせ>

緑地フェスティバル開催に先立ち 2 月 20 日・18 時 30 分

から第 1 回実行委員会を開催、引き続き開催の自治会長会議において実行委員会の意向等も踏まえ審議、

結論は各自治会長が持ち帰り町内各位の意向把握の上、自治会として開催の可・否を決め、その結果を連合会に連絡。

3 月 19 日開催・自治会長会議において開催の可・否を含め一定の方向性を審議致します。

★連絡事項

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ①役員交流会 | 3 月 1 日(土)11 時～
(於、ベルクラシック) |
| ②会長会議 | 3 月 19 日(水)19 時～ |
| ③公園、河川一斉清掃 | 3 月 22 日(土)9 時～ |